

計画事業番号	00452	事務事業名	交通安全施設整備事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2303
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市交通安全条例・交通安全対策特別交付金等に関する政令			
事務事業開始年度	-		個別計画等	北広島市交通安全計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境にまつまれた安全なまち	
	(第 6 節) 交通安全の推進	
	(施策 2 ) 交通安全環境の整備	
2 対象	市民	
3 目的と内容	だれもが安全に安心して通行できるよう、交通安全施設など交通環境の整備を促進する。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	①市道の区画線引き、カーブミラー、警戒標識・スクールゾーン標識等の設置 ②国道・道道管理者への交通安全施設整備の要望(カーブミラー等)
	29年度	①市道の区画線引き、カーブミラー、警戒標識・スクールゾーン標識等の設置 ②国道・道道管理者への交通安全施設整備の要望(カーブミラー等)

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
カーブミラー、警戒標識等交通安全施設の設置	注意標識4基、カーブミラー3基、スクールゾーン標識撤去1基、砂箱設置1箇所、区画線等の設置(中央線、ドット線、外側線、速度減速表示、止まれ等)	カーブミラー、警戒標識等交通安全施設の設置	カーブミラー、警戒標識等交通安全施設の設置	カーブミラー、警戒標識等交通安全施設の設置

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	具体的な整備については、地域からの要望や交通環境の変化、また、事故発生状況などを総合的に勘案し実施する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」  
「現状継続」  
「要検討」  
「見直し」  
「統合」  
「休止・廃止」  
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,997		3,000		3,000		3,000	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	2,997		3,000		3,000		3,000	
	① 合計	2,997		3,000		3,000		3,000		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.50	0.10	0.50	0.10	0.50	0.10	0.50	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	2,250	840	2,250	840	2,250	840	2,250	
総事業費①+④			6,087		6,090		6,090		6,090	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①注意標識、注意看板	基	4			
	②カーブミラ設置	基	3			
	③砂箱設置	箇所	1			
	④区画線の設置	路線	10			
成果指標	① 交通事故の発生件数(高速含)	件	135	135	135	135
	【指標の定義(算式等)】		183			
	② 交通事故死亡数(高速含)	人	0	0	0	0
	【指標の定義(算式等)】		1			
	③ 交通事故負傷者数(高速含)	人	160	160	160	160
	【指標の定義(算式等)】		211			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	交通安全環境の整備に関し、カーブミラー等設置の交通事故防止に係る道路環境整備は大変重要なものであり、行政が主体となって行う必要がある。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	地域からの要望を受け、危険箇所に対し交通安全施設の整備を行っていることから、地域の安全対策として成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	交通事故の発生状況は減少傾向にあり、継続して交通安全施設の整備を行うことによって更なる交通事故件数の抑制が期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	地域からの要望を受け、危険性や緊急性などを調査し必要な箇所に対し整備を行っていることから、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--